



赤ちゃんからの 科学館の楽しみ方

こちらで
紹介したものは一例です。
うちの子はなにに
興味を示すのだろう？と
お子様それぞれの
「楽しみ方」を
見つけること」を
楽しんでください！



宙に浮くボール↑

多種多様な鏡↓



ねんね・だっこ期



少しずつ外の世界に触れ始めるこの時期。どんなことでも赤ちゃんにとっては学びになる時期ではないでしょうか。
例えば、赤ちゃんが大好きな鏡。家では体験できない多様な映り方をする鏡があります。違いを楽しんでください♪
ボタンを押す展示もたくさんあります。赤ちゃんの好奇心を満たすおもちゃ箱のような楽しみ方もできます♪



よちよち期

歩くのが楽しいこの時期。それは手や足をとにかく動かしたい！という表れなのかもしれません。

科学館にはハンドルを回す展示がたくさんあります。体全体を使ってハンドルを回した先に、なにかが起こる！それがこどもにとって喜びに繋がるのではないかと考えています。

また、スタッフ手作りの科学おもちゃも人気です♪

カテナリーアーチ→

手作りおもちゃコーナー↓



←光の三原色
スペースシップシミュレーター↓



ものしり期



なんでも自分でしたい！できなかつたらイヤイヤ！身の回りのことがわかりはじめるこの時期。

「スペースシップ」では、自分で操縦できる楽しさや、考えながら操縦するので思考力も育めます。

「光の三原色」では、ボタンを押すと、色が登場！この色は何色が知ってる？と親子のコミュニケーションも知識も深まります♪

どの世代にも大人気！

→科学館は、日常では目にしない色づかいの空間です。こどもにとってはカラフルなまるでテーマパークに来たような非日常感でわくわくできるのではないのでしょうか。

ハンドルを回したら上からボールがコロコロ。ボールの動きについて大人も夢中に！ベビーには追視あそびにもなりますし、もう少し大きいお子様には観察力を育む遊びにもなります。

